

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

[スキャン機能]

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだファイルを検知して、障害を引き起こす可能性を含むファイルの削除や通知を行います。

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。
- 起動中のアプリケーションはスキャンできないため必ず終了してください。終了しない場合は正しくスキャンできません。アプリケーションの終了方法は、それぞれのアプリケーション作成者にお問い合わせください。
- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。なお、自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます (P.145)。
- パケット通信接続中はパターンデータを更新できません。ブラウザを使用したりメールを送受信した直後は、それぞれのアプリケーションを終了しても、パケット通信回線に接続されたままになっています。「パケット通信回線を切断する」(P.82、P.97)を参照して、パケット通信回線を切断してください。
- 各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

手動で全ファイルをスキャンする

[スキャン]

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください (P.145)。
- スキャンを実施する前に、すべてのアプリケーションを手動で終了してください (P.36)。

1 「スタート」→「SecurityScan」

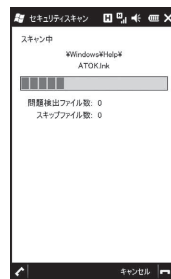
- 「パターンデータ更新を起動してください」という画面が表示された場合は、「OK」をタップして、パターンデータを更新してください (P.145)。

2 「スキャン」→「OK」

- microSDカードやUSBメモリ機器などの外部メディアをFOMA端末に取り付けている場合は、「スキャン」→スキャン範囲を選択→「OK」→「OK」をタップします。



セキュリティスキャン画面



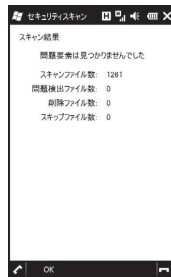
スキャン中画面

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

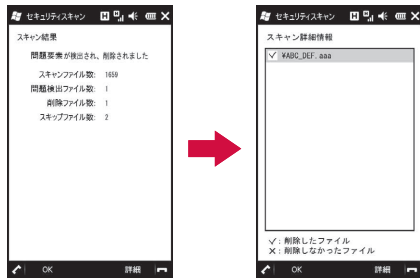
検出された問題要素によって、表示されるメッセージと操作が異なります。

■「問題要素は見つかりませんでした」が表示されたとき
「OK」をタップして画面を閉じてください。

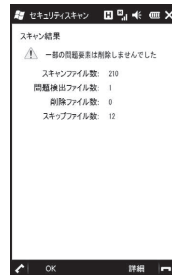


■「問題要素が検出され、削除されました」が表示されたとき
「OK」をタップして画面を閉じてください。

- 「詳細」をタップすると削除されたファイルを確認できます。



■「一部の問題要素は削除しませんでした」が表示されたとき
「詳細」をタップして削除しなかったファイルを確認してください。
削除しなかったファイルは障害を引き起こす可能性があるので手動で削除することをおすすめします。



スキャン機能を設定する

【スキャン機能設定】

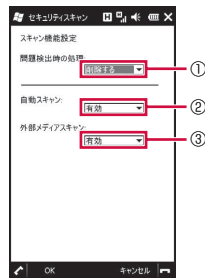
WM6.5
初期設定内容

問題検出時の処理：削除する
自動スキャン：有効
外部メディアスキャン：有効

問題検出時の動作やスキャン機能の有効/無効を設定します。

1 「スタート」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「スキャン機能設定」



- ① 問題を検出した場合、データを自動的に削除するが設定します。
- ② ファイル更新時に自動的にスキャンするか設定します。
- ③ microSDカードやUSBメモリ機器など、外部メディアをスキャン対象とするか設定します。

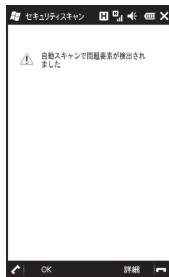
3 「OK」をタップする

自動的にファイルをスキャンする

【自動スキャン】

自動スキャンが「有効」に設定されていると、変更やコピーが行われたファイルに対して自動的にスキャンを行います。問題要素が検出されると通知画面が表示されます。

- 終了するには「OK」をタップします。
- 「詳細」をタップするとスキャン結果が表示されます。



自動スキャン結果の表示について

【自動スキャン結果】

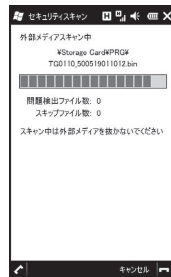
自動スキャンの結果を確認します。

- 1 「スタート」→「SecurityScan」
- 2 「メニュー」→「自動スキャン結果」
自動スキャンの詳細情報が表示されます。
- 3 「OK」をタップする

自動的に外部メディアのファイルをスキャンする

【外部メディアスキャン】

外部メディアスキャンが「有効」に設定されていると、microSDカードやUSBメモリ機器などの外部メディアをFOMA端末に取り付けたとき、外部メディアの全ファイルに対して自動的にスキャンを行います。



指定した時刻に全ファイルをスキャンする

【スキャン予約】

WM6.5

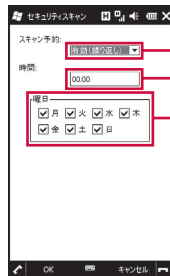
初期設定内容

スキャン予約：有効（繰り返し）

時間：00：00

曜日：月・火・水・木・金・土・日にチェック

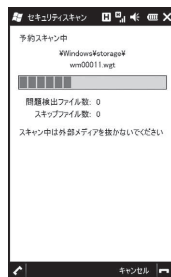
- 1 「スタート」→「SecurityScan」
- 2 「メニュー」→「スキャン予約」



- ① スキャン予約の設定を行います。
- ② スキャンを実施する時間を設定します。
- ③ スキャンを実施する曜日を設定します。

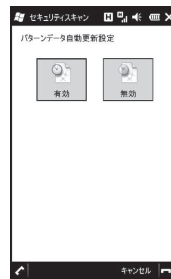
3 「OK」をタップする

スキャン予約が「有効（繰り返し）」に設定されていると、指定した時刻に外部メディアを含むFOMA端末内の全ファイルに対してスキャンを行います。



1 「スタート」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「自動更新設定」→「有効」→「はい」→「はい」



パターンデータを更新する

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

- 最新のパターンファイルをダウンロード（通信料無料）してからスキャンを行ってください。

1 「スタート」→「SecurityScan」

- 「パターンデータ更新を起動してください」という画面が表示された場合は、「ok」をタップしてください。

2 「更新」→「はい」→「はい」

- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

自動でパターンデータを更新する

【自動更新設定】

パターンデータの自動更新を「有効」に設定すると、新たな問題が発見された場合、自動的にFOMA端末内のパターンデータを更新するよう設定できます。

おしらせ

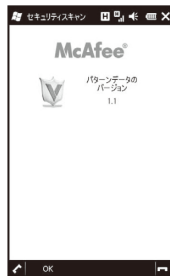
- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 以下の場合にはパターンデータを更新できません。
 - FOMAカードが未挿入
 - FOMAカード不正
 - デバイスロック中
 - PINロック中
 - PINロック解除コードロック中
 - パソコンとの同期中
 - インターネット接続中
 - 電子メール受信中
 - パケット通信中
 - 圏外にいる場合
 - ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの場合
 - 時計を設定していない場合
 - 外部機器接続中
 - 海外で利用している場合
 - ほかのアプリケーションを起動中
- パターンデータの自動更新に失敗した場合、が表示されますので、パターンデータの更新をしてください（P.145）。

パターンデータのバージョンを確認する

[バージョン表示]

1 「スタート」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「バージョン表示」



3 「OK」をタップする